

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成23年5月19日(2011.5.19)

【公表番号】特表2005-523980(P2005-523980A)

【公表日】平成17年8月11日(2005.8.11)

【年通号数】公開・登録公報2005-031

【出願番号】特願2004-501487(P2004-501487)

【国際特許分類】

C 08 G 77/12 (2006.01)

C 07 F 7/21 (2006.01)

C 08 G 77/50 (2006.01)

【F I】

C 08 G 77/12
C 07 F 7/21 C S P
C 08 G 77/50

【誤訳訂正書】

【提出日】平成23年3月31日(2011.3.31)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

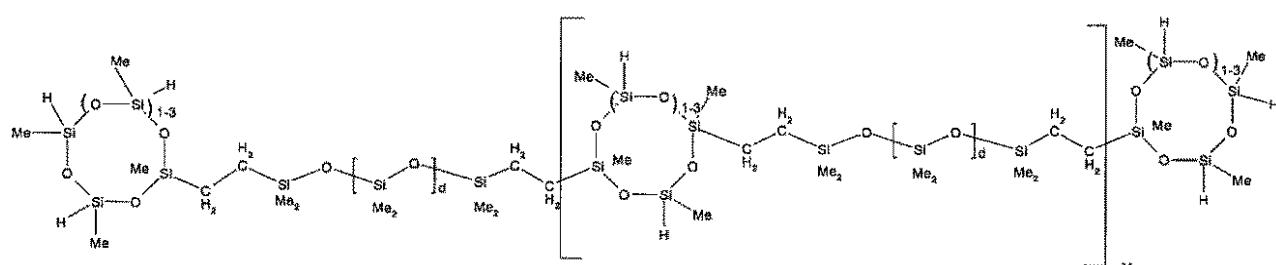
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

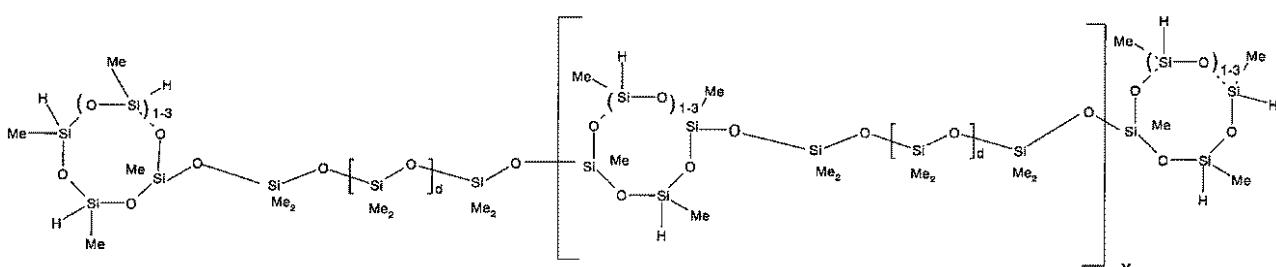
【請求項1】

分子1個につき少なくとも1個のケイ素結合水素原子を含有するオルガノハイドロジエンシリコン化合物であって、下記構造：

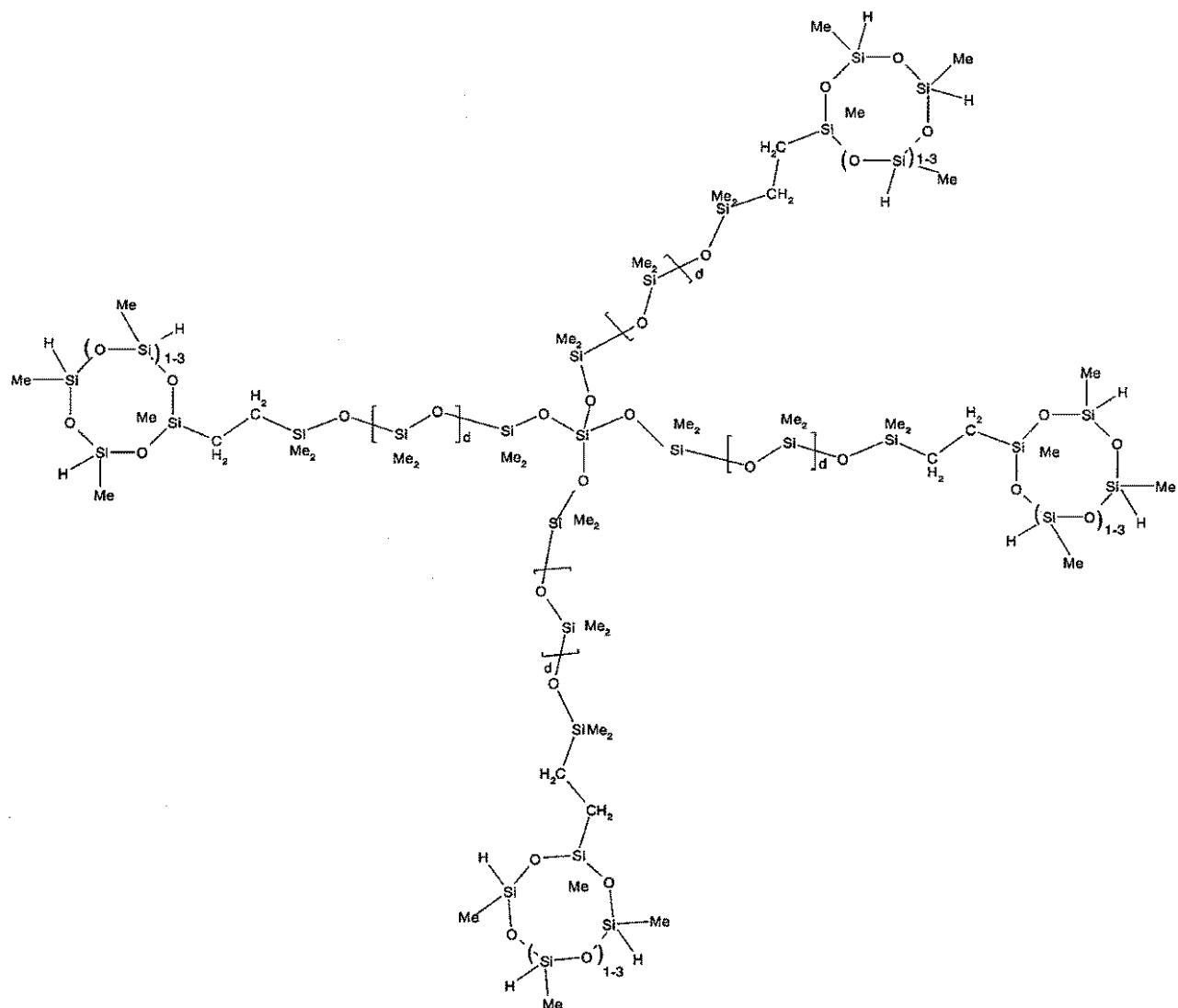
【化1】



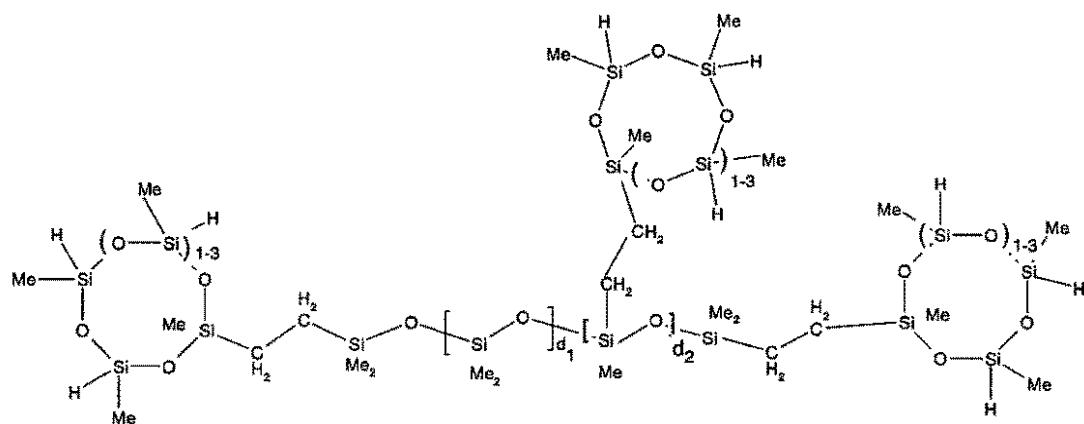
【化2】



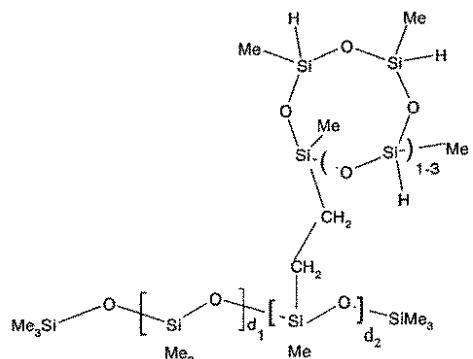
【化 3】



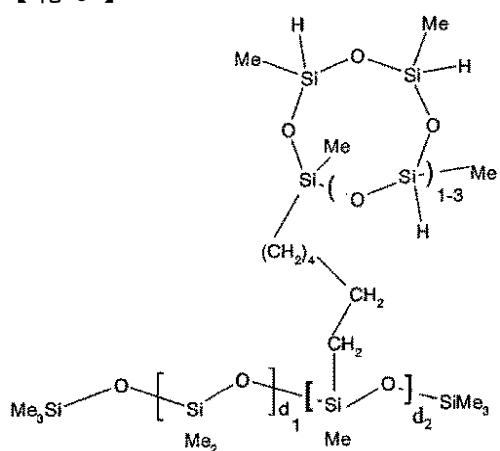
【化 4】



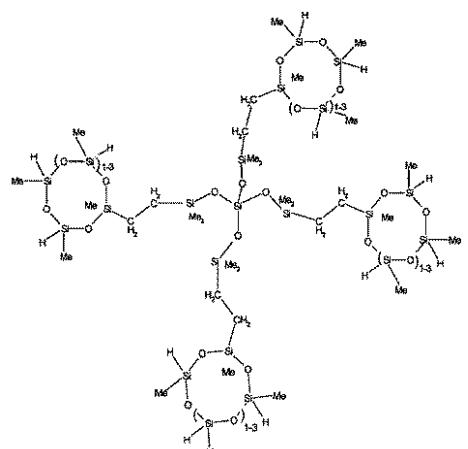
【化 5】



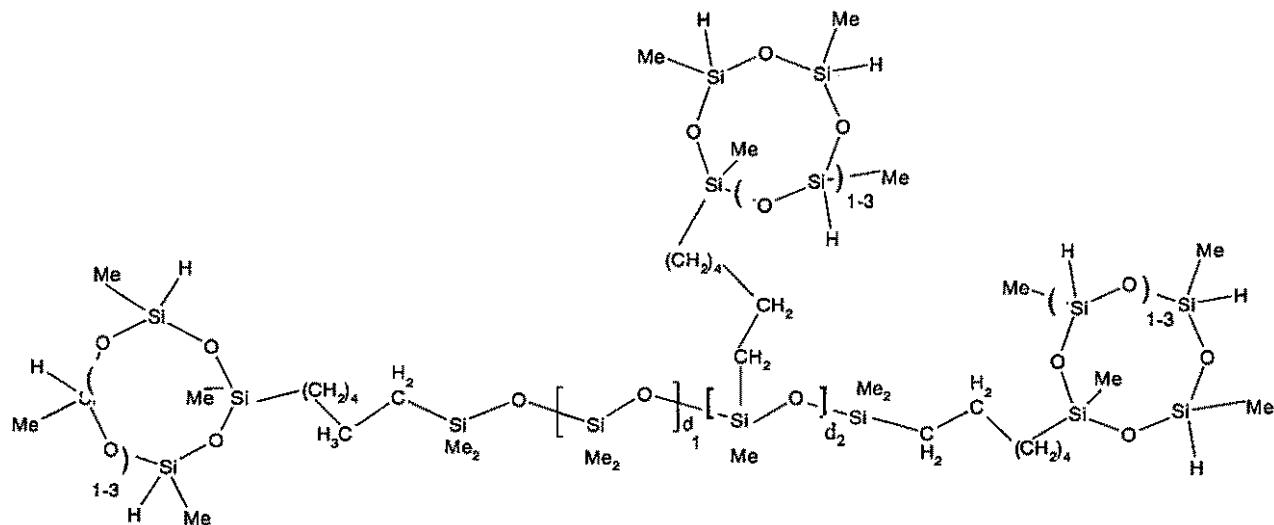
【化 6】



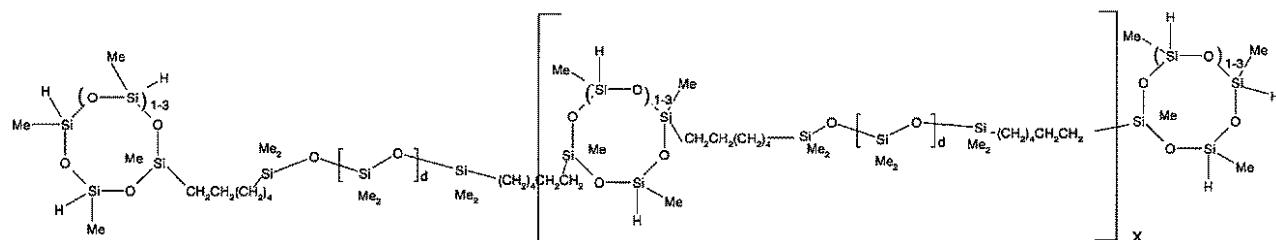
【化 7】



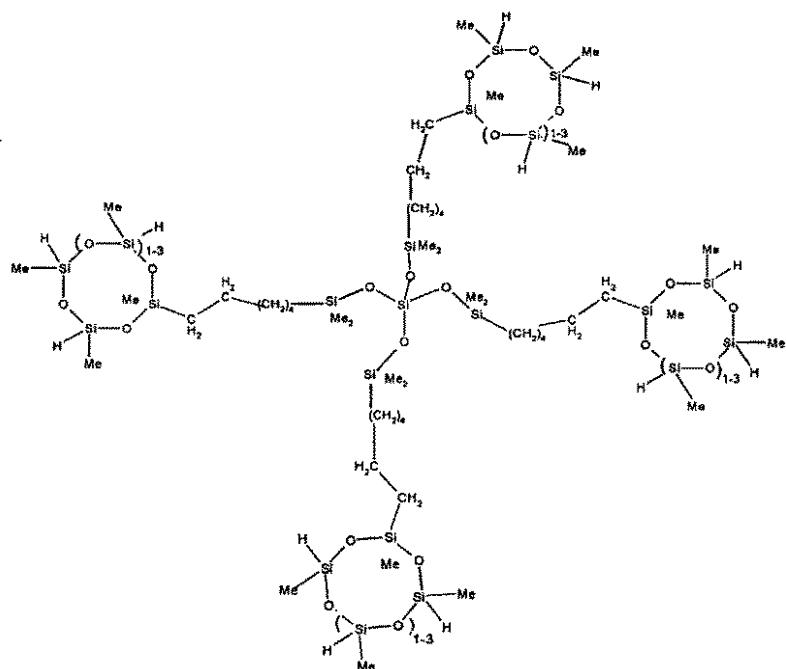
【化 8】



【化 9】



【化 10】



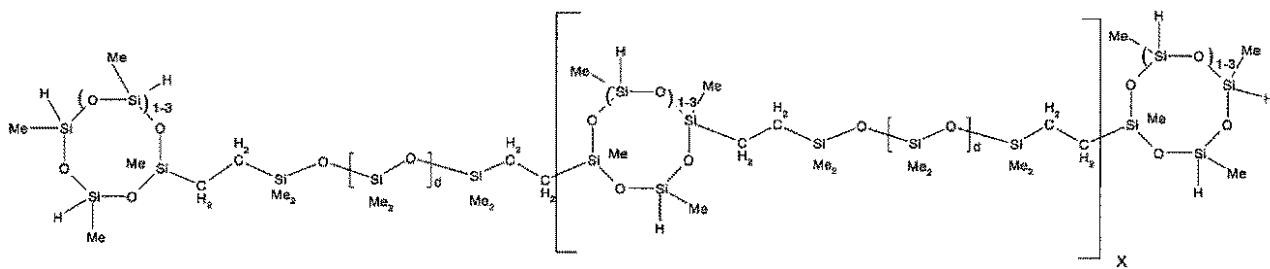
(式中、Meはメチルであり、 $d_1 + d_2 = d$ であり、dは1～5000の整数であり、xは1～100の範囲である)

のいずれかで表される、オルガノハイドロジエンシリコン化合物。

【請求項 2】

前記オルガノハイドロジエンシリコン化合物は、下記構造：

【化11】



(式中、Meはメチルであり、dは平均8であり、xは1～15の整数である)
で表される、請求項1に記載のオルガノハイドロジエンシリコン化合物。

【請求項3】

SiH結合の5～70%が、炭化水素、オキシ炭化水素、またはアリルグリシジルエーテルもしくはビニルシクロヘキシリエポキシドのヒドロシリル化により誘導される官能基で置換される、請求項1または2に記載のオルガノハイドロジエンシリコン化合物。

【請求項4】

SiH結合の5～50%が、アリルグリシジルエーテル(プロピルグリシジルエーテル基)またはビニルシクロヘキシリエポキシドのヒドロシリル化により誘導される官能基、アルキル基またはアルケニル基で置換される、請求項1または2に記載のオルガノハイドロジエンシリコン化合物。

【請求項5】

SiH結合の10～30%が、アリルグリシジルエーテル(プロピルグリシジルエーテル基)のヒドロシリル化により誘導される官能基で置換される、請求項1または2に記載のオルガノハイドロジエンシリコン化合物。

【請求項6】

前記オルガノハイドロジエンシリコン化合物は、1分子当たり少なくとも2個のケイ素結合水素原子を含有する、請求項1～5のいずれか一項に記載のオルガノハイドロジエンシリコン化合物。

【請求項7】

前記オルガノハイドロジエンシリコン化合物は、1分子当たり少なくとも3個のケイ素結合水素原子を含有する、請求項1～5のいずれか一項に記載のオルガノハイドロジエンシリコン化合物。

【請求項8】

前記オルガノハイドロジエンシリコン化合物は、5～50,000mPa·sの粘度を有する、請求項1～7のいずれか一項に記載のオルガノハイドロジエンシリコン化合物。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0049

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0049】

上述の炭化水素、オキシ炭化水素および官能基の例としては、基Aに関して本明細書中に後述する基のタイプが挙げられる。好ましい基としては、アリルグリシジルエーテル(すなわち、プロピルグリシジルエーテル)またはビニルシクロヘキシリエポキシドのヒドロシリル化により誘導される官能基、アルキル基(例えば、1-ヘキシル、1-オクチルおよびエチルシクロヘキサン)およびアルケニル基(例えば、5-ヘキセニル)が挙げられる。SiH結合は、アリルグリシジルエーテルのヒドロシリル化により誘導される官能基で置換されるのが最も好ましい。